

2010 “特別支援教育”シリーズセミナー

第3回 家庭や学校でできる音楽療法とは

思春期の発達障害傾向の我が子をどうサポートするか

以前、神戸や大阪で不登校生、精神疾患患者、障害者などそれぞれ困り感を持つ子どもや大人が、伸び伸びと音楽を楽しみ、大勢の人の前で堂々と演奏するような機会に参加したことがあります。即興で音楽をつくる子どもの姿をみていて感じたことは、音楽というのは療法とか治療の手段であることと同時に、そこで音楽をする者は楽しんでいることです。学校や家庭でも音楽のあり方とはそんなことではないかと感じます。音を楽しむということとはどんなことを一緒に学びつつ、中学・高校生年代の思春期のむずかしい時期に、適切な支援ができるように、関係者が発達障害について正しく理解し、専門性を高めていきませんか。

川崎特区アットマーク高等学校
理事長 日野公三

【第3回 家庭や学校でできる音楽療法とは】

日時：8月21日(土) 13時受付 13時30分開始

講師：工藤傑史氏 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総括研究員
前東京学芸大学附属特別支援学校 教諭
コーディネーター：成田 滋 アットマーク明蓬館高等学校校長
(兵庫教育大学名誉教授)

参加費：無料

定員：40名(先着順です)

プログラム：13:30-14:15 音楽療法とは、音楽療法の役割、音楽療法の効果
14:15-15:30 音楽療法の実習体験、質疑応答
15:30-16:30 個別の教育・進路相談会

開催場所：アットマーク明蓬館高等学校 品川キャンパス

〒141-0001 東京都品川区北品川 5-12-4 山泉ビル 3F

TEL:03-3449-7904 FAX:03-5423-2813

e-mail:soudan@at-mhk.jp 担当:菊地、小田、新田

主催：アットマーク明蓬館高等学校

お申込方法：下記お申込書をFAXして頂くか、アットマーク明蓬館高校フリーダイヤル【0120-9587-19】までお電話ください、お申込みお待ちしております。



工藤傑史氏 主要著書
学校音楽教育実践シリーズ3「障害児の音楽を育てる」《音楽之友社》、僕たちのブロードウェイ「養護学校卒業生とその家族支援者で作る『若竹ミュージカル』」《晩成書房》、知的障害のある子どもへの音楽療法「子どもを生き生きとさせる音楽の力」《明治図書》、ほか

本シリーズは、思春期の発達障害傾向の子どもたちに接する保護者をはじめ関係者が発達障害に関する最新の知識を共有し、療育と指導に必要な資質と能力を高め合うことを目的に、講演会を開催いたします。発達障害と向き合う保護者、学校関係者および関係支援団体の皆様の積極なご参加をお待ちしております。
《総監修》成田 滋

【今後の開催予定と講師予定】 ※次回以降も、ぜひともご参加くださいますようお願い申し上げます。

第1回 7月11日(日) -終了しました- 保護者が実践できる生活技能訓練(SST)の方法とその工夫

第2回 7月19日(月) -終了しました- 「特別なニーズを持つ子の学び場(高校の進路選択セミナーVol.1)」

第3回 8月21日(土) 本セミナー 「家庭や学校でできる音楽療法とは」

第4回 9月23日(木・祝)「ネットを使った個別指導計画(e-iep)の実際」、講師：成田 滋 アットマーク明蓬館高等学校長

第5回 10月23日(土) カニングハム久子先生来日講演会「読み書きの困難な中学生への指導方法」

第6回 11月3日(水・祝) 蓬洋舎(板橋・成増)主催「特別なニーズを持つ子の学び場(高校の進路選択セミナーVol.2)」

8月21日(土)第3回 講演会・セミナーお申込書 <FAX:03-5423-2813>

氏名

所属団体名

参加人数

住所 〒

TEL

FAX

E-MAIL